

2006 May

Lecture

47

Subject グローバル時代の日本語力

丸の内キャリア塾とは、毎月第3火曜日に掲載しているキャリアデザインを... 考える女性のための実践的学習講座です。毎回ひとつのテーマを掲げ、キャリアアップに必要な実用事例を多面的に特集していきます。今回のテーマは「グローバル時代の日本語力」。グローバルにキャリアを積んでいくには、どのような日本語力、コミュニケーション力が必要なのかを考えます。

第33回セミナー

今こそ問われる日本語の重要性

グローバルな交流が盛んになり、日本でもたくさんの外国人が活躍するようになっています。その中で、日本語を今更にはどうとらえることも必要になってきています。このほど開催された日経丸の内キャリア塾第三十三回セミナーでは、日本語の重要性をテーマに取り上げました。第一部では、

池崎美代子さん(ビジネス日本語協会会長)を聞き手に、琴欧州関が語るトークショー。第二部はパネルディスカッションで、池崎さんを司会に、マーティ・キーナートさん、ダブローナキ・ジュラさん、ヴァネッサ・オーセルさんの三人が、日本語との出会いや日本語の魅力などについて語り合いました。

パネルディスカッション

楽天野球団チームアドバイザー 東北大学特任教授 マーティ・キーナートさん 駐日ハンガリー共和国 特命全権大使 ジュラ・ダブローナキさん アシックス マーケティング統括部 マーケティングコーディネーター ヴァネッサ・オーセルさん [コーディネーター] ビジネス日本語協会(BNA)会長 池崎美代子さん

日本語との出会いとその難しさ

池崎 まず皆さんが日本語に興味を持ったきっかけを教えてくださいませんか。

キーナート スタンプフォード大学の一年生だったとき、トイレで日本との交換留学生募集のポスターを見たのがきっかけです(笑)。軽い気持ちで応募し、慶應大学に留学しました。初めて見聞きするすべてのことに感銘を受けて、日本がとても気に入りました。

ダブローナキ 私の場合は、モスクワの国際関係大学で日本語を学び始めたから面白くなり、その後、ハンガリーの外務省に入って日本の担当になりました。仕事をしながら本格的に日本語を学びました。

トークショーから



琴欧州関 1983年ブルガリア・ヴェリコ テルノヴォ市出身。本名カロヤン・ステファノフ・マハリヤノフ。身長204cm、体重145kg。初土儀は平成14年11月場所。敢闘賞2回、殊勲賞を3回受賞。平成18年1月場所で大関に昇進。

レスリングから相撲の世界へ 幼いときから、スポーツは何でも好きでした。なかでもレスリングに熱中し、ヨーロッパのジュニアチャンピオンとなり、オリンピックを目指していました。相撲との出会いは、国立スボ

のレスリング体重区分が見直されて、体重百二十kg以下に制限されました。もともと百四十kgくらいあったので、これでは無理だと思っていたところ、日本から声がかかり相撲の道に進むことにしたのです。土儀に上がったときは、目の前の勝負しか考えません。勝

「好きな言葉は、がんばらう」 日本に来て、一番苦労したのは言葉の修得でした。ブルガリアの両親に電話をかけたことも、最初は国際電話のかけ方もわかりませんでした。相撲部屋では日本語しか通じませんし、部屋の外国人力士は私一人だけ。言葉はほとんど先輩に教えてもらいました。大変ありがたかったですね。最初に覚えた日本語は、「ごっつあんです」。これは入門したとき、先代の佐渡ヶ嶽親方(元横綱琴桜)と食事をして、教えていただきました。

「頑張りなさい」 大関まで来ましたから、今の夢は、もう一つ上へ行くことです。いつも応援してください。いつもファンの皆様には感謝しています。今日、来場されている女性の方々もそれぞれの仕事で頑張ってください。私も頑張ります。

池崎 言葉は自ら努力しないと修得できません。言葉は仕事だけでなく、暮らしや人生も豊かにしてくれます。人脈をつくり、キャリアを広げるためにも、日ごろ使っている自分たちの言葉を見直していきたいと思



ジュラ・ダブローナキさん

「がんばらう」 百四十二カ国の大使がいまいますが、日本語のできる人は十人足らず。そのメンバーで会を作っています。日本政府の大臣などを招いていますが、日本語が話せることで多くの日本人と知り合えるのがうれしいですね。



ヴァネッサ・オーセルさん

池崎 日本人にもっとこうしたら、という点は、キーナート 一人の人間がスポーツも学問もできるということが日本ではあまりありません。しかし海外では、オリンピックの金メダルを取るアスリートが医者や弁護士になるケースも多い。日本の教育にもっと柔軟性があれば、人間のポテンシャルを生かせると思います。



マーティ・キーナートさん

池崎 皆さんが経験から、日本人が外国語を学ぶときのヒントを教えてくださいませんか。キーナート 言葉を学ぶには二つの条件があります。一つはモチベーション。音楽でもスポーツでも何でもよいので、その言葉を使いたくなる目的を持つこと。もう一つは環境。日本でも外国と同様の環境を作ることです。英字新聞を取る、外国人の友人を作るなどですね。そして必ず毎日続けることです。



池崎美代子さん

池崎 皆さんの経験から、日本人が外国語を学ぶときのヒントを教えてくださいませんか。キーナート 言葉を学ぶには二つの条件があります。一つはモチベーション。音楽でもスポーツでも何でもよいので、その言葉を使いたくなる目的を持つこと。もう一つは環境。日本でも外国と同様の環境を作ることです。英字新聞を取る、外国人の友人を作るなどですね。そして必ず毎日続けることです。ダブローナキ 日本人は自信がないと、せつかく学んだ外国語を使おうとしません。しかし、合)の研修プログラムで日本語を学んだのですが、そのとき関西で四月ホームステイをしました。一緒に生活するなかで、日本の家族のことを理解できたのがよかったです。

池崎 皆さんの経験から、日本人が外国語を学ぶときのヒントを教えてくださいませんか。キーナート 言葉を学ぶには二つの条件があります。一つはモチベーション。音楽でもスポーツでも何でもよいので、その言葉を使いたくなる目的を持つこと。もう一つは環境。日本でも外国と同様の環境を作ることです。英字新聞を取る、外国人の友人を作るなどですね。そして必ず毎日続けることです。ダブローナキ 日本人は自信がないと、せつかく学んだ外国語を使おうとしません。しかし、

池崎 日本人にもっとこうしたら、という点は、キーナート 一人の人間がスポーツも学問もできるということが日本ではあまりありません。しかし海外では、オリンピックの金メダルを取るアスリートが医者や弁護士になるケースも多い。日本の教育にもっと柔軟性があれば、人間のポテンシャルを生かせると思います。ダブローナキ 「出る杭は打たれる」という風潮は良くないですね。新しくものを生み出すには個性が必要です。日本語に「ご無事で」という表現があるように、日本では何もないことを良いことだととらえることが多いようですが、世界はほとんど変わっています。変わることを恐れないことです。オーセル 親子のコミュニケーションがもっとあつていいと思います。子どもが大きくなつてからは難しい。仕事の代わりに、もう少しコミュニケーションの時間を増やしてほしいですね。池崎 言葉は自ら努力しないと修得できません。言葉は仕事だけでなく、暮らしや人生も豊かにしてくれます。人脈をつくり、キャリアを広げるためにも、日ごろ使っている自分たちの言葉を見直していきたいと思